

令和元年度 第1回学校評議員会会議録

- 【日 時】 令和元年6月21日(金) 15:00~16:00
【会 場】 岩手県立花巻南高等学校会議室A
【出席者】 学校評議員3名
太田 健 花巻中学校 校長
笹山 明 自営(整骨院経営) 同窓生
市川ひとみ 青木家具製作所〔元本校PTA副会長〕 PTA
PTA役員2名、
福盛田満広 PTA会長
菊池 千夏 母親委員長
花巻南高等学校出席職員
菅原一成 校長
日野澤明彦 副校長
大隅サイ子 事務長
藤村哲男 総務部長 記録

【記 録】

1 開会の言葉

2 学校評議員委嘱 机上の委嘱状により校長から委嘱された。

3 校長挨拶

それではまず最初に本校の学校について簡単に説明したい。まず今年度は創立108年目ということで新入生は201名入学している。卒業生が201名なので、同じ数が入ったということになる。全校生徒601名で新学期をスタートした。男女比は学年によって少しだけ違うが、ほとんど同じである。男子が36%女子が64%の男女比である。新入生は花巻市内から今年は97名、去年は132名なので大幅に減った。逆に北上地区からは増えた。69名で去年は49名。中部地区を中心とした地域で全体の83%、その他は盛岡市奥州市金ヶ崎町から入学している。

おかげ様で今年度の受験者総数昨年を大幅に上回って200名の定員に対して240名の中学生が受験した。年々増えており、大変意欲的な生徒が多く集まったと考えている。

次に部活動について、どの運動部も活発に活動している。県大会上位に進出する部も多い。

そのほか文化部も運動部も活躍しているが、最近の話題としては湯本中出身の原田さんが高総文祭の標語で最優秀賞をとったり、美術部の黒板アートが小さな親切運動で表彰を受けたり、上野中出身の佐藤さんが高校生平和大使に選ばれてスイスの国連欧州本部に派遣されるなど活躍している。

それから国際教育については本校では国際科学学系があるが今年度はドイツから交流校ヴァイアホフ高校の訪問団10数名を9月に受け入れる。この3月にヴァイアホフに12名行っているのも今度は向こうから来る。2年生の国際科学学系の今年度の修学旅行は台湾で、一昨年昨年はシンガポール・グアムであった。7月にアイルランドから学生一人受け入れる予定になっている。そして来年の2月から3月にかけて姉妹校のハワイのレイレファ高校と韓国へ海外派遣する予定である。ハンドボール女子は今回県高総体2位だったが、韓国遠征に10名派遣ということでこれも補助すべきと考えている。今年度は国際交流がかなり活発ということである。

最後に応援歌練習について少し紹介したい。今年度の応援歌練習では応援歌の練習がなくなった。応援歌は花南の生徒手帳にもたくさん載っているが応援歌は歌わなかった。校歌とエールだけ。平成になってからは第1と第4を歌ったが今年度からは歌わなくなった。理由は応援歌を歌う場がなくなったから。野球応援のときは別に早稲田大から応援団を呼んでチアリーダーを含め全く別バージョンで動きのある応援をする。いわゆる昔ながらの応援を歌う場面がないということと、応援歌練習でたくさん倒れたりする可能性があるのであえてその必要はないだろう、ということで今年からなくなった。

おかげ様で練習中体調を崩す新入生もなく順調な滑り出しであった。

生徒は体育祭もちょうど2日前に終わって気持ちを切り替えて今度は勉強に向かう状況である。

4 説明および意見交換

説 明 校 長

(1) 学校経営計画・学校概況について 資料1P、2Pを校長より説明

1P学校経営計画の1の(3)学校に影響を与える変化だが、時代がどんどん変わっている。それに合わせた新学習指導要領とか大学入試改革が強調されている。そういった時代の変化に合わせて、本

校の伝統的な校訓をベースにした教育目標をここに表している。今高校の教育目標は確かな学力を明知によって身につける。それに伴って豊かな人間性、中庸は適切な判断を下すというもの、バランスのとれた豊かな人間性を育てるというものである。そして、限りない可能性に挑戦するということが無限ということ。こうしたことを校訓は表しているが、生徒にも職員にも目標にしておうということ掲げている。勉強と部活動の両立が一番大切なテーマである。二つ目は学力をきちんとつけさせて進路希望を実現させる。本校は大学から専門学校就職まで進路多様校であるので多様な生徒達の進路希望を実現させるための手立てをしっかりと行うということ、そして三つ目は地域社会の未来に貢献しようとする志を育てたいことである。このような教育計画を進めているところである。それに基づいて各分掌で取り組むべきものについては次の重点目標のところの説明する。

(2) 各分掌・学年重点目標について 資料2P～13Pを校長より説明

2Pの令和元年度～達成指標～について説明したい。授業評価あるいは学校評価というのを例年11月から12月にかけて行っている。授業については各教科でそれぞれの視点から生徒に評価してもらおうということ、そして授業以外の家庭学習時間を何とか増やしたい。我々が願っているくらいまだ確保できていないのが現状である。学校の文化として文武両道をもっと進めなければいけないことが課題の一つである。学校評価を通じて最終的には生徒が満足したという状況を作り出したいと考えている。

進路希望の実現については4年制大学の志願率は年によって違うが40%前後である。彼らの進路希望を達成するためにも45%の目標を掲げている。国公立大学についてはこのところ一桁で推移しているが今年度は推薦も含めて今までの倍増を狙って生徒達の希望を実現したいと考えている。就職については昨年19名であったが17名がこの中部地区である。100%の就職率を達成しており、地元志向が強くなっている。例年1割弱の生徒が就職する。エの生徒に寄り添うサポート体制ということで、いじめ防止がどこの学校でもSNSも含めて課題になっている。クの読書指導の充実で図書館は生徒達が借りやすい話題のある本から小論文に使える本まで非常に上手に展示していると思う。廊下には帯封を掲示して生徒達の注意を喚起している。図書館は整備されて利用しやすいように作られているので、年々貸出数は増えている。目標は控えめに書いているがビブリオバトルその他のよってたくさんの生徒達に借りてもらいたい。

3P以降重点だけ説明する。今の学校経営計画を参考にして各分掌で作ったものである。

3P(総務部)PTA総会参加者200名と書いているが、今年に関しては総参加者が156名。3年生の学年PTAは既に終わっているが41%であった。総じてまだ呼びかけを工夫しなければならない。3の国際交流は先ほど話した通りである。今年は特に活発に行われる。5の110周年記念事業であるが110周年をあと3年後に控えて今年度は実行委員会を年度末に立ち上げたいと考えている。来年から記念誌作成に入ろうと思う。あるいは記念事業の準備で手をつけられないと出ることが出て来る。

4Pの教務部のところだが今高校生のための学びの基礎診断という高校生の学力をつけるために様々な民間のツール、いわゆる模試とか検定試験を活用している。本校ではそれを受けて使っているのがベネッセの実力診断テストである。基礎力をはかるためのものである。それからスタディサポートというものもある。勉強のチェックをするために年何回か行いそれを分析して普段の学習に役立てることをしている。その他検定試験ではGTEC実用英語検定試験や数学検定試験などもやっている。こういったことを通じて学力を保証したい。特に実力診断テストは今年から本格的に導入したものになる(年3回)。それから教務部では生徒による授業評価を11月に行う。これに向けて授業改善を呼びかけている。

5P(生徒指導部)生徒に事故がないということは、当たり前なようで当たり前ではない。いろいろな所で気を配っているところである。特に教育相談にはすごく力を入れているところである。

6P(教育相談係)生徒部にくっつけているが、個々の人間関係を示すQU検査をやりながら、それを研修に使ったり生活アンケートの中でおかしいところがあったときはいじめ対策委員会をすぐに行って対応を検討することをやっている。交通事故であるが、生徒が自転車で一歩間違えばということが昨年もあったし今年も先日あった。そのことも含めて交通安全指導、子供達の人間関係に関する指導を行っている。あとはボランティア関係では、JRC委員会もあるが積極的に外に出して目的を持った活動をさせたい。

7P(進路指導部)平常課外がまた3年生で始まる。もちろん長期休業課外もある。進学する生徒に関しては進学に対応したものを、就職に関しては就職に対応したものを、専門学校に関しては専門学校へのオープンキャンパスの指導が始まる。ここに令和元年度進路の手引きがある。この中に過去5年間の専門学校の進学状況がある。これを見ると本校の生徒はどこの専門学校に行ったのかがわかる。

公務員を志望している生徒はなかなか難しいので公務員の予備校に行っている生徒もいる。保育関係で保育の専門学校も多い。外国語学校に行った生徒は航空会社への就職を目指している。こうしたことがこの中から見えてくる。進路の手引きには今年の大学の5年間の蓄積が出てきている。進路の手引きの

14P～16Pに具体的な大学の名前が書いている。21P以降には医療系の学校が出てきている。今年の特徴として岩手のリハビリ専門学校の理学療法に本校から7人行っている。40人クラスに7人が花南生ということで岩手県の理学療法の人材が本校からたくさん出ているのは非常にうれしいことである。かなり丁寧に高齢者のリハビリについても行われており、大学に行くくらいに難しいのでこういうところを目指す生徒がいてもいい。医療系を目指す生徒が多いことが本校の特徴の一つになっている。きちんとした指導計画を進路指導部では意識している。

8P(厚生部)一番重点的に取り組んでいることは熱中症対策である。授業中に水を飲んでもよいとか、服装を軽くするとか、扇風機を教室に2台設置するとかいろいろな形で工夫している。熱中症による重篤な生徒が絶対でないようにすることは学校として重点的に取り組んでいることである。飲み物の自動販売機は今年から甘い飲み物をなくしてスポーツドリンク、カロリーメイトOS-1などにするなど自販機を統一した。それでも熱中症は重篤化しないまでも出ている。中学校ではエアコンが導入されるのでますます高校では対策をしなければならない。緊急時のAEDも3台設置した。

9P(図書研究部)総合的な探究の時間を研究する分掌として、探究学習を本格的にやるということで計画を練っている。

(その他)昨年度の施設整備について、扇風機(各教室に2台)、グラウンドの土の改善のため砂を入れた。弓道場の照明や土の部分を整備、それから時中堂で浴室のボイラーを取り換えた。また、花南フィールド(中庭の人工芝)にLEDの照明をつけた。暗くなった時などこれが一番活用されている。これが一番使用されている。階段に手摺をつけたりスロープをつけたりは現在やっている。授業ではプロジェクターを毎年購入し授業の変化を促したいと思っている。洋式トイレの設置は今後進める。

進路部活動についての説明 副校長

14Pこの三月に卒業した卒業生の進路の状況について、179名が進学、18名が就職となった。

15P進路決定先。上の方から全体、人文科学学系(2クラス)、自然科学学系(1クラス)、スポーツ科学学系(1クラス)、国際科学学系(1クラス)ということで5学級を何とか維持して進めていきたい。

16P進学先及び就職先の一覧でそれぞれの進学先と人数を記載している。

17P今年度の部活動成績である。上の方から高総体が終わり体操部は団体で準優勝で丁度今東北大会(盛岡の県営体育館)が行われている。個人は3年の照井さん優勝、2年の小山田さん第3位でこの2名は南九州のインターハイに出場が決まっている。ソフトテニス部は男子がベスト8、女子が第3位で東北大会に先週末行ってきた。陸上は2名が東北大会に出場して男子の競歩が第5位でインターハイまであと一步、時間にするとあと2秒で残念ながらインターハイを逃してしまったがよく頑張った。剣道部は男子個人で第3位。男子団体がベスト8。丁度今東北大会で郡山に出かけている。ソフトボールベスト8、バレーボール第3位、それからバスケットボールについては男女とも3回戦。ハンドボール男子は2回戦、女子は準優勝し東北大会出場。来週の週末に宮城県に出かけて東北大会ということになる。卓球部では女子個人でベスト16ということで東北大会に駒を進めた。

文化部については囲碁将棋部、囲碁については女子の団体が9年ぶりの優勝ということで7月下旬に東京で行われる全国大会に出場、女子個人については3年の中道さんが準優勝で全国高総文祭(九州佐賀)に行き試合をしてくる。将棋については女子団体が準優勝、個人で1年の小原さんが優勝し全国高総文祭(九州佐賀)に出場となった。他の部活動については現時点で主力の大会はないということもあり参考資料として別刷りで文化部運動部昨年の成績を併せて作ったので後ほど見てほしい。

18P学校評価アンケートは昨年の12月に実施したものなる。特にそう思う、ややそう思うを合わせて肯定的評価が90%以上が欄の右側に◎、80%以上90%未満が○、70%以上80%未満が△という形で処理した。各項目ともおおよそ80%以上の評価を頂いているが中には△の回答もあるのでこれを基に学校の標準目標を設定していくということとした。

20P後ほど見て頂きたい。

意見交換

A:小学校中学校へのエアコン設置についてだが花巻地区は早かった。7月に試運転の予定である。

県立高校には入っている教室と入っていない教室がある。主に特別教室だと思うがどこに入っているのか。先ほど熱中症を絶対出さないという話があったが、どういう対策を具体的に取られているのか?

副校長:本校で冷房が入っているのは研修会館の時中堂と上の会議室B、あとは保健室と社会科教室で普通教室はまだ入っていない。扇風機を増やしている。授業中でも水分(水・お茶・スポーツドリンク)の補給ができるようにと、職員会議を経て来週以降実施する。ただし、机の上には置かないことでカバンの中や脇に置く。

A：応援歌練習でも興味深いのだが、応援歌を歌わないというのはなくすのか、それともそういうものは同窓会に相談したりしたのか。

校長：同窓会には報告した。ただ楽譜がないので練習しなければ歌える人がいなくなる。応援歌練習のための応援歌になっているので現実としては同窓会の皆様には納得して頂いている。今度の総会でも報告する予定である。

B：CDがあるはず。

校長：90周年記念事業で作成したCDがあり、財産である。110周年のために応援歌に対するエピソードを集めたいと思って同窓会に呼びかけているが、難しい問題である。個人的には何とか記録に残したいと思って呼びかけても、いつできたかなど知っている人がいない。

A：応援歌をなくしたことを生徒はどう思っている？

総務部：エールや校歌に関心があって、自然な流れだと思っている。

A：応援団の組織はどうなっているか

副校長：委員会制である。

C：応援歌について同窓生だがあまり記憶にない。私達が共学になって3年目の年で、初めて早稲田大学が来て応援リーダーが教えてもらって応援歌練習をやった。今までは女子高の方々がきびしくやっていたそうだ。

校長：応援歌は男女共学になってオリジナルの応援歌を作ろうということで応援歌ができたと思うが、歌わなくなった応援歌も増えてきた。この前の体育祭では勝ったと喜んで肩組んで皆で校歌を歌っていた。歌は必要なのだなと思った。

C：各学年の目標（11P、12P）にボランティアがあるが、主にどんなものを行っているか？

私は3年前まで青年会議所の青少年事業でイベント事業を担当し主に花巻農業高校の生徒が多いのだが南高校の生徒も入ってボランティア事業を行った。2年前は子供たちとキャンプを行った。あとは世界に水を送る募金活動を行った。どういったボランティアを行っているか？

副校長：幼稚園の七夕会とか行事の時に行く。後はお年寄りの施設とか参加要請があり、今後も要請があれば生徒に呼びかけて参加を促していきたい。

校長：補足するとユニテッドチルドレンは今も協力させてもらっている。青年商工会議所の方がいらしてご挨拶頂いて、わんこそばやお祭りの後のゴミ拾いを協力した。いろいろな所から老人ホームや幼稚園、施設の七夕祭りの要請がどんどんくる。募金活動もくる。それを募集すると必ず生徒は手をあげてくれるのだが、子供達が何のためにやるのか、社会経験のために活かすという視点が抜けていきがちなので、そこをきちんとやらなければならないという反省点を持っている。要請は毎年増えている。それを社会経験として活かしていくための視点は必要なと考えている。

D：体育祭の帰り、制服で帰るという指示があり、息子の時はほぼ守った。今は制服でない格好でヨーカドーに来ている。5、6人の団体が交通マナー（自転車マナー）が悪かった。ヨーカドーの前の道路を斜めに横断してヨーカドーに入っていた。それは危ないと思った。制服を着ていると意識がしっかりしているのだが、体育祭の恰好のまま帰った時、自転車のマナーが悪かったと思う。そこを制限するかの確認と、あとは自転車のマナーを気を付けないとこの前もニュースであったように高校生が70歳代の老人をはねて死亡させた事例もあるから、やっぱり自転車も怖い。もう少し教えてもらって家庭からも教えなければならないことだが、学校でも指導してもらいたいと感じた。

副校長：登下校はやはり制服でと担当から話はしているが、守られていなかった。

D：だいぶ多かった。ヨーカドーをうろろしたりとかいろいろな所に流れたりした点があったので、もう一回そこは指導してもらいたい。近所や地元もきちっと見ている。

校長：二日目に5時半過ぎに終わって、そのまま終わったという感じがおっしゃる通りあった。帰りが昨日と違うなと思って反省点とする。

副校長：自転車マナーについてもたびたび花巻駅から本校に向かってくる歩道を走る生徒と車道の一番左側で並進している生徒が見られるので、これについては週明けに呼びかけて今後も継続して指導していかなければいけない。

D：進学コースがどのくらいの割合であるか、手引きにあった14Pあった数年間の進路状況だが21年から30年にかけて書かれている。すごく見やすいので、国公立にはこんなに入った時期もあるのだなと一目瞭然でわかる。進路の手引きの内容はとても参考になる。

E：先日県の健全育成委員会の会議に行ってきた。今年も重点項目は10年間変わらず挨拶運動である。挨拶運動に参加された人の数やどういう状況だったかということ把握して県に出す。親もいっぱい参加できればいいと思う。時間的にちょっと厳しいのは分かるが子供たちが学校に来るときのマナーなどを見る機会を多く、役員の方だけでなく参加できる機会が欲しい。回数を増やして子供達の通学する姿を見てはどうか。マナーの悪い感じは去年出てなかったが、自転車マナーも気をつけることは

先生だけでなく、親たちも入っていくことが必要である。

F：暗くなってから市内の方に行く機会が多いが、部活帰りの子供達が並走しているとか、無灯火などがあり、運転していてひやっとすることがあるので、そのあたりを指導して欲しい。

女子は髪が長かったら結ぶ指導を受けたのだが、実際見ているとあまり結んでない子やぜんぜん結んでない子がいて、以前それを担任の先生に伺ったことがあるのだがあれは結局フォーマルでなければ別に結んでなくてもいいとのこと。校内でも普通に結んでない子を見かけるので、その辺の扱い指導はどうなっているのか。自分は南校の女子高時代の卒業生だが、非常に厳しかった。今の高校生はのびのびと自由にやっていていいなと思う反面やはりどこか締めるところはきちんとした服装でいてほしいなという気持ちが非常にある。

副校長：まだ徹底されていない部分があり、生徒指導部だけでなく全体で考えていくことが必要になってきている。

C：職業から高校生も来院するが、南高校の生徒は真面目である。挨拶もよくできる。しない学校もある。のびのびとしている。学校によっては頑張りすぎていっぱいいっぱいな状況も結構みられるが、そういうことがあまりない。校風がそうなのかもしれないが私はいいと思う。

F：今年の春先に同窓会名簿についての電話があった。あれは同窓会が名簿を作るということで動いているのか。

校長：そうです。

F：今は個人情報非常に厳しくなっている。電話が来た時に個人情報とかは時代にそぐわないのではないかと話した。同窓会の方々はその辺をどのように考えているのか。

C：同窓会常任理事として発言すると、いろいろな方面から苦情が来るが、今回だけという形で対応している。このことをご理解いただきたい。

校長：業者に委託しているが、個人情報に精通している業者なので必ず本人の確認を経て載せますか載せませんかと全部確認している。そのとおりで年代によってはSNSで同級会をやる時代だからいらぬという意見も当然あるが、まず今回だけは作っておきたいという意見が多かったのをそれに合わせてということで今進んでいる。第3者が利用しないよう細心の注意を払っているが、不安を持たれる方もたくさんいると思う。

副校長：何かあれば今後学校の方に指摘してほしい。例えば、自転車のマナーだとか遠慮なくお叱りの電話を頂ければと思う。我々も生徒の命をしっかりと守るという点からマナーを守らせる指導をさらに進めていきたい。今後とも指導をよろしく願いしたい。

来年の2月頃に第2回の学校評議員会を開催して今年度の状況を評価して頂く予定になっているのでよろしく願いしたい。

5 閉会の言葉